

小学校の“学校茶園”で、伝統の“茶摘み行事”

山春小学校の校庭には茶畑が約 7 畝あり、茶摘みシーズンの“八十八夜”ごろに、100 年ほど続く茶摘み行事が毎年行われている。

摘みたての“茶の新芽”をその場で揚げたお茶のテンプラも試食する。

うきは市では、茶の栽培の振興を図るため、平成 26 年 4 月に全国初となる「お開きは、うきはの茶で乾杯条例」が施行され、収穫作業後に“お茶で乾杯”も行う。

摘み取った茶葉は市内の工場で製茶し学校で使用される。

年間通じての茶畑の維持管理は、茶農家・河北幸高さん（検索 [楠森堂](#)）など地元関係者の協力のもと児童たちも行ってきたので、喜びの収穫となる。なお、今年は、児童・保護者に加えて、地元の山春地区自治協議会からも参加する。

■日時 5月8日（月）午前8時30分から（2時間程度） ※雨天延期=5月9日（火）

■場所 うきは市立山春小学校校庭の茶畑（うきは市浮羽町山北 783-6）

●問い合わせ 山春小学校 Tel.0943-77-2267（取材にお越しの際は、事前にお知らせください）



児童による茶摘み作業の様子（写真奥の建物が校舎）



茶農家・河北幸高さん
（小学校近くの茶畑で）



“茶の新芽”を保護者たちが、その場で揚げてサクサクのテンプラに、ほろ苦さが好評

編集：うきは市総務課広報係（Tel.0943-75-4980）係長・瀧内宏治、重富結人（瀧内：携帯 090-7454-6381）

※FAX を手にとられた方は、「うきは市ホームページ」掲載のカラー版を御覧ください→検索 [うきはブランド通信](#)

2017. 5. 1 発表／小学校の“学校茶園”で、伝統の“茶摘み行事”